

ななかまど

令和5年3月1日(水)
第56号
一般社団法人
猿 払
ななかまどの会
会 報

みごと希望の学科へ

放課後塾ななかまど塾生 高等養護学校全員合格

4月から3年間の就労にむけた訓練が始まります

一月二十七日に一齐に行われた特別支援学校の入学者選考検査の発表が去る二月十五日に行われ、放課後塾に籍を置く中学三年三人が全員、希望する学科に合格しました。

合格した本人達はあまり喜びを表には出していませんでしたが、安心したのはご両親です。希望する学科に合格した事で表情からは安堵の色がうかがわれました。四月からは一般就労を目指しての学習が始まります。まず、労働に必要な体力・集中力・持続力・先を見通す力等々を授業や実習を通して少しずつ身に付けていきます。「挨拶」の仕方も徹底的に鍛えられます。この辺が一般の高校と違うところです。卒業後「働くこと」を一番に考えているのです。

マスクの着用は3月13日から自己判断で

昨年四月に特別支援学校を卒業し、村内に就職したsさんは仕事もきっちりこなして、職場の皆さんからも信頼されています。支援学校三年間の成果が十分に発揮されているのです。進学する三人も是非「働く力」を身に付けてきて欲しいと思います。

卒業式では国歌、校歌斉唱以外はマスクなしで。

進学の前に卒業式があります。文科大臣の発言から紆余曲折がありましたが、岸田首相が「三月十日から原則マスクの着用は自己判断にする」と発表しました。その後「卒業式は特別」とも発言しました。卒業式で道知事が「卒業式でいい」と発表しませんでした。国歌・校歌斉唱以外の時ですが。

去年、一昨年の卒業生には申し訳ないのですが、これで卒業証書を受け取る晴れ姿を、マスクなしの笑顔で披露できる事となります。ただ、コロナ禍が治まったわけではありません。先月は後半確かに罹患0という日もあり減少傾向にあることは確かですが、完全になくなったわけではないです。今の変異株は今まで以上に感染しやすい事も分かっています。また、死者も出ています。「マスクなし」でもコロナに罹ってしまったら卒業式どころではありません。基本的な感染防止対策は今後も続け、健康で卒業式を迎えたいものです。インフルエンザも流行っています。コロナの感染対策を守ればインフルエンザは防げます。うがい、手洗い、換気、黙食で予防しましょう。

ななかまどの会では「卒業と進級を祝う会」を三月五日に実施します

ロシアのウクライナ侵攻から一年

昨年の二月二十四日、ウクライナの首都キーウに突如攻め込んだロシア。短期決戦をもちろんでいたロシアも「自国防衛」の士気の高いウクライナ軍に反撃され一年が経ちました。

EU諸国の武器供与で侵略された領土を次々と取り返し、現在はウクライナ東部・南部で膠着状態のようです。

それにしても武力で他国の領土を奪い、その親ロシア勢力と結託して傀儡政権を作り、偽の住民投票でロシアに併合してしまう、主権国家とは思えない蛮行です。侵略した理由をプーチン大統領はいろいろ言っていますが、そもそも他国を武力で侵攻することが悪いことであって、犯罪です。ウクライナ軍が奪還した村や部落では拷問され、あるいはレイプされ殺された

数々の遺体が掘り起こされています。また、学校や病院、駅などに無差別にミサイル攻撃を仕掛けています。狂気としかいいようがありません。私たちが障がい者を支援することを定款で定めている猿払

ななかまどの会は、障がい者を次々に生み出す戦争には絶対反対です。だからといって他国から武力侵略されたら、できる限りの抵抗をします。大切なのは軍事行動を生み出すような外交をしないことです。

しかし、グローバリズム（経済の国際化）が進むと経済力の強い国とそうでない国との間で格差が生まれます。そこで武力を持って「威嚇」する事が生まれるのです。儲けることもほとんどにしないと北朝鮮のような国が次々に出現し、地球が破滅する方向に向かうのではないでしょうか。

鹿注意

三月に入り太陽高度も随分高くなりました。ナイフト口の道づたいにある山の斜面にも雪のない部分が現れ、そこに生えている「若芽」を鹿が徒党を組んで食べているのを見かけました。昨年は40頭ほど一度に数えられませんでした。飛び出しても停車出来るようスピードダウンですね。



闇バイトで強盗殺人？

連日「闇バイト」で集めた若者を操った「連続強盗」事件が報道されています。なんでも北海道出身の首謀者がフィリピンから操っていたとか。

なぜ若者は安易な金儲けの道を選ぶのでしょうか。二十年以上前から非正規労働者が増え、給料がほとんど上がっていない背景があるのではないか。給料が上がらないと消費しないからGDPも上がらない。経済の負のスパイラルから抜け出せない世の中が原因かも。

核兵器の使用は絶対反対！

戦争反対

ななかまどの会は障がい者の社会参加を応援している公益法人です